



撮影/米軍 所蔵/米国立公文書館 提供/広島平和記念資料館

広島原爆



伝承者講話風景



伝承者講話風景

長崎原爆



撮影者不詳・長崎原爆資料館所蔵



浅草の仲見世あたり（1945年8月19日撮影）
提供/東京大空襲・戦災資料センター

東京大空襲



伝承者講話風景

令和7年度

くにたち 原爆・東京大空襲体験 伝承者講話

伝承者派遣
申込受付中

広島原爆・長崎原爆・東京大空襲

▶ 3人の戦争体験を聞き取りした伝承者たちが^{*}生の言葉で語り継ぐー

国立市内在住の広島・長崎の原爆体験者と東京大空襲体験者から受け継いだ戦争の体験と平和への思いを、国立市から委嘱された伝承者が心を込めて語ります。
※令和7年度活動者21名

この方たちの戦争体験と思いを語ります



ひらただみち
平田忠道さん 広島原爆 体験者
1930年（昭和5年）生／2019年逝去

1945年4月、東京都麻布から父親が転勤していた広島へ、母親と妹、2人の弟とともに転居。そのわずか4か月後、中学3年生だった平田さんは、広島市北部にある可部町での勤労働員の作業中に被爆。



かつらしげゆき
桂茂之さん 長崎原爆 体験者
1930年（昭和5年）生／2017年逝去

当時、長崎中学校3年生だった桂さんは、学校で製造した部品を大八車に乗せて、同級生4人1組で三菱造船所に運ぶ途中、長崎駅付近で被爆。



にへいはるよ
二瓶治代さん 東京大空襲 体験者
1936年（昭和11年）生

8歳のときに東京大空襲に遭い、亀戸で被災。家族とはぐれて炎の中を逃げまどい、折り重なる死体の下で一命を取り留める。奇跡的に家族と再会するも、前日まで遊んでいた多くの友人が犠牲に。

※くにたち原爆・東京大空襲体験伝承者講話は、体験者本人ではなく、体験者の体験と思いを語り継ぐ「伝承者」による講話です。

くにたち原爆・東京大空襲体験伝承者 派遣概要

東京都国立市では、市内在住の広島原爆・長崎原爆及び東京大空襲の体験者の体験と想いを、一人でも多くの方に語り継ぐため、「くにたち原爆・東京大空襲体験伝承者」の派遣を行っています。学校・自治体・民間企業・市民グループなどを対象に、全国に伝承者を派遣します。

講話：広島原爆・長崎原爆・東京大空襲

時間：1回の講話は約35分間(質疑等の実施の希望については、ご相談ください)。

費用：無料 ※ただし、東京大空襲の伝承者を東京都外に派遣する場合は、謝金2,000円+交通費実費を伝承者にお支払いいただきます。

申し込みから開催の流れ

申し込みの受付

派遣の可否の連絡

派遣者名等の派遣内容の連絡

派遣者と電話等で打ち合わせ

会場への派遣、開催

申し込み期限

本項の下に設置の『申込先』のチャートに従ってご確認ください。**派遣場所や希望講話によって、申込先・申込期日が異なります**ので、ご注意ください。

※申込・派遣に関する注意事項は、各申込先にて必ずご確認ください

申込先

開催場所（派遣場所）
はどこ？

くにたち
国立市内

くにたち
国立市以外

希望する講話は？

東京大空襲 広島原爆 長崎原爆

東京大空襲

広島原爆

長崎原爆

くにたち
東京都国立市役所



▲国立市公式サイト
くにたち原爆・東京大空襲体験伝承者講話

申込：開催日の1か月前まで

こくりつ
国立広島
原爆死没者追
悼平和祈念館



▲広島折念館公式サイト
☎ 082-207-1202

こくりつ
国立長崎
原爆死没者追
悼平和祈念館



▲長崎折念館公式サイト
☎ 095-814-0055

申込:派遣希望月の3か月前の月の月末まで

※両折念館へのお申し込みの場合、くにたち原爆・東京大空襲体験伝承者は、「原爆体験伝承者（東京都国立市が養成）」の名称で記載されています。「原爆体験伝承者（東京都国立市が養成）」をお申し込みください。

※くにたち原爆・東京大空襲体験伝承者講話は、体験者本人ではなく、体験者の体験と想い語り継ぐ「伝承者」による講話です。

【申し込み・問い合わせ先】

国立市 政策経営部 市長室 平和・人権・ダイバーシティ推進係

電話：042-576-2111（内線229・256）

ファクス：042-576-0264 / メール：sec_diversity@city.kunitachi.lg.jp

▼ 国立市ホームページのQRコード ▼

伝承者講話



定期講話



派遣講話

